



審議会における議論に活用することとしています。

これまで「平成26年2月26日～4月30日」と「平成26年7月22日～9月30日」の2回にわたり皆さんから御意見を募集しておりましたが、第3回目となる今回はこれまでの施策の方向性や食料自給率等の目標・展望の考え方などに関する議論を踏まえた御意見・御要望を募集します。

御意見の提出方法は、「インターネットからの提出」「郵便による提出」「FAXによる提出」の3つの方法があります。詳細は下記リンク先をご参照下さい。

■ 募集期間：平成26年12月19日（金）～平成27年1月19日（月）17:00必着

■ 農林水産省ホームページリンク（詳細、提出方法など）

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo02/141219.html>

■ 食料・農業・農村基本計画のページ

[http://www.maff.go.jp/j/keikaku/k\\_aratana/index.html](http://www.maff.go.jp/j/keikaku/k_aratana/index.html)

■ 食料・農業・農村政策審議会企画部会 配布資料

<http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kikaku/bukai/index.html>

■ お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課調整・総括・企画・計画

担当者：菊地、塩田（03-3502-5515）

～園芸施設共済の補償が拡充されます～

本年2月の豪雪により、関東を中心に園芸施設に甚大な被害が発生したことを踏まえ、自然災害等により被災した施設を再建し、速やかに農業経営の継続が図られるよう、園芸施設共済の補償が拡充されます。

平成27年2月から摘要できるよう準備を進めており、その概要を次の通りご紹介しますので、ぜひリンク先の拡充内容を説明したパンフレットもご覧下さい。

## 1. 時価ベースの補償の拡充

（1）耐用年数を見直します。

パイプハウスは、5年を10年に延長します。

（2）補償価額を上げます。

施設本体と附帯施設の耐用年数経過後の補償価額を再建築価額の20%から50%に上げます。

## 2. 農家選択による補償の追加

さらに1の時価ベースの補償の拡充に加え、農家の選択により、更に大きな補償が受けられます。

① 耐用年数の施設の補償価額は、再建築価額の100%

① 耐用年数経過後の施設の補償価額は、再建築価額の75%

注：追加部分の共済掛金は、全額が農家負担であるとともに、追加部分の共済金は、

施設本体及び附帯施設を普及した場合に支払われます。

### 3. 撤去費用の対象と拡充

現在、撤去費用の対象となっていないパイプハウスも撤去費用の補償対象に追加されます（農家選択）

詳しくは、下記URLをご覧ください。

■ 農業災害補償制度のページ（農水省HP）

[http://www.maff.go.jp/j/keiei/hoken/saigai\\_hosyo/pdf/engpanhu.pdf](http://www.maff.go.jp/j/keiei/hoken/saigai_hosyo/pdf/engpanhu.pdf)

■ お問い合わせ先

農林水産省 経営局 保険課畑作物・園芸施設再保険班

担当：西野（電話：03-6744-2173）

### ◆◆◆担い手のための耳寄り情報◆◆◆

～甘くてほっこり、省力栽培が可能なカボチャ品種「TC2A」～

カボチャの栽培では、定植後の整枝、誘引、収穫作業に多くの労力を必要とします。省力化・軽労化のポイントとして、つるが伸びにくい短節間性品種の導入が挙げられますが、従来の短節間性品種は肉質・食味において、必ずしも市場のニーズにかなったものではありませんでした。

そこで農研機構では、生育の初期につるが伸びづらく食味も良いカボチャ品種「TC2A」を育成しました。

「TC2A」は生育の初期につるが伸びにくい短節間性をもち、側枝の発生が少なく、整枝・誘引は不要です。また、株もと近くに果実がなりやすいため収穫しやすい特徴があります。肉厚で甘く、ほっこりした高粉質で、食味の点でも優れています。密植栽培が可能なので、面積当たりの収穫量の増加も期待できます。

「TC2A」は平成24年度農林認定品種に認められ、種子は種苗取り扱い店にて入手可能です。現在は北海道道央地域を中心に栽培されており、今後も普及の拡大が期待されます。

■カボチャ品種「TC2A」（商品名：ほっとけ栗たん）の詳細は下記をご覧ください。

↓

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/publication/files/naro-se/TC2A.pdf](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/files/naro-se/TC2A.pdf)

■お問い合わせ先

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

北海道農業研究センター 企画管理部情報広報課

（TEL 011-857-9260）

※補正予算案や当初予算案の決定が例年より遅れておりますが、経済対策に関するこれら情報については、年明けの配信号にてお伝えしようと思っております。

◇◇◇編集後記◇◇◇

日本気象協会が年末年始の天気を発表しました。28日（日）と29日（月）は急発達する低気圧の影響で、全国的に荒れた天気となる見込みです。30日（火）から新年1月4日（日）にかけては、冬型の気圧配置となる日が多く、日本海側の地域では雪が降り続き、Uターンにも影響が出てくる恐れもあるようです。農業者の皆さんにおかれましては、農業施設の雪対策など十分になさって下さい。

本年も担い手メールマガジンをお読みいただきましてありがとうございました。来年も皆様のお役に立てる情報を配信していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(facebookもやっています！)

経営局facebook～農業経営者新時代ネットワーク（※登録なしで閲覧できます。）

→ <http://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/38f2.html>



○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

○ 発行日：毎月1回発行

○ 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：住田

☆ 農林水産省担い手ホームページもご覧ください！

～担い手への支援策、認定農業者数等、担い手情報満載！！～

→ [http://www.maff.go.jp/j/kobetu\\_ninaite/index.html#ninaite](http://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/index.html#ninaite)

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ [http://www.maff.go.jp/j/kobetu\\_ninaite/n\\_hyousyou/hyousyou\\_merumaga.html](http://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html)

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

